資料１

島根県パイロット事業の概要　【積込み作業の効率化等による拘束時間の削減】

- パイロット事業（実証実験）は、コンサルタント等の専門家のアドバイスのもと、実験に参加するトラック運転者の長時間労働等の改善を図るものである。以下のように、①荷主及び運送事業者の現状の分析、②課題の洗い出し・課題に対する解決手段の検討、③課題解決に向けた取り組み、④取り組みの実施等を行う。
- この事業で明らかになる課題や解決策は、平成30年度に取りまとめるガイドラインに反映し、横展開することで、トラック業界全体の長時間労働是正につなげる。

現状分析

実験に参加する事業者と、コンサルタントが連携し、当該集団における運送取引の実態を把握。（打合せや事業場の訪問を複数回実施。）

＜参加集団＞

- 発荷主：ホシザキ㈱島根工場
- 元請運送事業者：日本通運（株）出雲支店木次営業所
- 着荷主：
  ①日通トランスポート㈱岡山支店
  ②北四国運輸倉庫㈱倉庫支店

課題の洗い出し 解決手段の検討

現状分析を踏まえ、当該集団の課題を設定し、この課題を解決する手段を検討する。

＜課題＞

- 受注業務について
- 配車結果の情報共有とトラック到着時間のスケジュールについて
- 積込み作業について
- 工場の設備について
- 工場の出荷情報について
- 工場の製品の荷姿について
- 荷主と運送業者のパートナーシップの強化について

上記を検証した結果、以下の課題が見られた。

・荷積みスペース不足による荷積みに時間がかかる。（倉庫）

・貨物の形状が様々なため、荷積みに時間がかかる。等

課題解決に向けた取り組み

左記の課題にうち、荷積みスペース不足の対策について、取り組みを行う。

＜取り組み＞

参加集団及びコンサルタントで下記の取り組みを行う

・屋根（庇）の増設による入出荷作業場の拡充が望まれる中、諸処の事情を勘案し、庫内に荷捌き場を設けることで雨天時などでも荷役可能な積込み場を確保する。

・具体的には保管スペースを削減し、その分を品揃え・荷捌きスペースとして転用する。

取り組みの実施

← 7～1月 →　　2月頃　　3月以降

倉庫全景

積み込み風景

貨物の一時保管の状況